

平成20年度公募補助金【政策報告補助金】一覧

No.	審査事業名	報告所管課名	事業の目的(報告書又は要綱等から抜粋)	事業の内容(報告書又は要綱等から抜粋)	報告補助金額 (単位:千円)	審議会における意見
60点～69点(事業名称順)						
1	IGRいわて銀河鉄道新輸送指令システム整備事業	道路課	並行在来線の経営分離に伴う指令システム整備に要する経費を補助することにより、IGRいわて銀河鉄道の経営の安定化を図り、公共交通の維持に資する。	2010年度に予定されている東北新幹線青森延伸による並行在来線(八戸～青森間)の経営分離に伴い、現行指令システムのマスク改修を含む県境分離工事、司令室その他施設の整備を含むIGRいわて銀河鉄道新指令システムの整備に要する経費を補助する。	12,016	IGRの新指令システム整備は、村民の交通を確保する意味で公益性の高い事業である。また、村も第三セクターIGRいわて銀河鉄道の構成団体であり、IGRの経営安定への支援は必要な施策と考えられる。
40点～49点(事業名称順)						
2	北京五輪女子サッカー日本代表岩清水選手応援事業	生涯学習課	本村出身のオリンピック選手を村民が一丸となって応援することにより、村民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に資することを目的とする。	1 村民が一丸となった応援事業 (1)大型画面による放送同時公開 (2)応援Tシャツ等の作成 2 応援支援事業 3 周知、広報事業 (1)新聞折込チラシの作成 (2)垂れ幕、横断幕、看板の作成 (3)村防災線無線の活用(直前周知) (4)広報たきざわへの掲載 4 報告会開催事業 ・本人の了解があった場合に開催	5,000	本村出身選手の北京五輪大会出場を応援する村民の姿がマスコミで報道され、村民に誇りと一体感を醸成したという意味で一定の効果があった。しかし、村費丸抱えの事業予算には課題が残る。協賛寄附を募るなどの工夫も必要であった。また、今後このような活動を実施するにあたっては、一過性の活動ではなく、スポーツ振興に繋げるような工夫が必要である。
40点未満(事業名称順)						
3	滝沢村木造住宅耐震改修支援事業	都市計画課	地域住宅計画、滝沢村耐震改修促進計画に基づき、地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止することを目的とする。	昭和56年5月末までに着工された、旧耐震基準で建築された在来工法(又は伝統工法)木造住宅を所有する者が、耐震診断を実施し判定値が1.0未満と判断された木造住宅について、判定値を1.0以上とする耐震改修工事を行なう場合、耐震改修工事費の1/2以内かつ60万円を限度とする額を補助する。平成20年度の補助件数は3戸を予定。	1,800	住宅耐震化推進は昨今の地震災害の頻発から政策判断において取組むべきものであるが、事業の内容は個人資産の保護であり公益的判断には馴染まない。また、平成27年までの耐震改修計画上の耐震化率の目標値と補助事業上の実施計画とで乖離があり、今後それらの整合性を高める必要があると認められる。